

活動内容 2. 解体系廃石膏ボードのリサイクル

従来、解体工事から排出される廃石膏ボードは砒素やカドミウムといった有害物質が含まれていたり、クロスや塗料、木、タイル、タッカー（大型のステープル針）などの異物が付着している物や複合端材がほとんどなので、解体系廃石膏ボードは全て管理型最終処分（埋立）としていましたが、再生処理専門受入業者（リサイクル業者）と、解体系廃石膏ボードをどの程度ならリサイクルとして受け入れてくれるのか協議を重ねて、協議した内容に沿って選定作業を実施しています。

活動結果

活動報告期間：2022年1月15日～
2024年9月14日

実稼働日：697日

解体系廃石膏ボード・
期間内受入量 …………… 5,069m³
解体系廃石膏ボード・
リサイクル数量 …………… 568m³

11%削減

最終処分量（埋立）



SDGsの開発目標期限2030年までの予想リサイクル量（ ）内は、30m³BOXダンプトラック換算の台数

- 廃プラリサイクル量 …………… 6,690m³ (223台)
- 廃石膏ボードリサイクル量 …………… 1,920m³ (64台)

トピックス 他



2024年6月5日 公益社団法人 全国産業資源循環連合会より
多年にわたる業界への貢献が認められ優良従事者表彰を受賞

おおさとリサイクルセンター
センター長 伊藤 博志（勤続31年）古川商業高校 卒

向井建設時代を含めて30年近く産業廃棄物に携わってきました。時代の変化とともに業態もめまぐるしく変わりコンプライアンスが厳しく問われる業界になったと痛感しています。そんな環境の変化に対応すべく今まで精一杯業務に邁進してきましたが、このように賞をいただいたことは今後の励みとなります。これからも地球環境保護の観点から、業界発展に寄与できる存在となるべく精進してまいります。

2023年4月～2024年3月

■ リサイクル率 …………… 87% (産廃ネットにて情報開示)

■ 優良産廃処理業者認定 (2015年より認定継続中)

エコアクション21相互認証

■ みちのく環境管理規定認証登録

(初回認証登録日 2014年11月29日 認証登録日 2023年11月29日 有効期限 2025年11月28日)